

図書館だよい

牧野図書館にて

枚方市立図書館通信第74号

<http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/sub-news/tayori.html>

発行：平成25年2月 枚方市立中央図書館（毎週金曜日・第4火曜日休館）050-7105-8121（こどものフロア）

〒573-1159 枚方市車塚 2-1-1 TEL 050-7105-8141 代 FAX 072-851-0962

寒さも一段と厳しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

図書館では皆様のご利用をお待ちしています。

【休館のお知らせ】

（給排水設備改修工事のため）

楠葉図書館及び生涯学習市民センター

H25年1月7日（月）～2月15日（金）

さだ図書館及び生涯学習市民センター

H25年2月4日（月）～3月15日（金）

※楠葉・さだ図書館では休館中も予約・リクエストの受付・予約資料の受け渡しの業務を行います。

（土・日曜日午後5時、平日午後7時まで。月曜日と第3木曜日を除く）

（蔵書点検のため）

香里ヶ丘図書館

H25年1月28日（月）～2月4日（月）

津田図書館

H25年2月4日（月）～2月11日（月）

菅原・牧野図書館

H25年2月18日（月）～2月25日（月）

（臨時休館）

枚方青少年センター図書館枚方公園分室

H25年2月3日（日）

●遣唐使が伝えた絶品食品、豆腐（トウフ）

湯豆腐や鍋料理に欠かせない豆腐は、中国で生まれ奈良時代に遣唐使によって日本へ伝えられました。

中国は当時「唐」の時代だったので「唐符」と書かれ、肉が食べられない禅宗修業者の重要なタンパク源となりました。江戸時代には「絹ごし豆腐」も考案され、日本人の食卓に欠かせない程人気食材になりました。



豆腐は、大豆を擦りつぶしてしぼった豆乳に海水からとりだした「にがり」を加え、豆乳のたんぱく質を固めた食品です。大豆にはたんぱく質が40%前後含まれ、そのたんぱく質は9種類の必須アミノ酸を含み、コレステロールを下げる作用があるので、動脈硬化や心筋梗塞、脳出血の予防になると言われています。また大豆に含まれている「イソフラボン」は女性ホルモンに似た働きをするので、骨粗しょう症や乳がんなどを防ぎ、煮るとその泡に含まれるサポニンが、舌咽神経を刺激し満腹感を感じさせるので肥満を予防します。このように豆腐は、消化が良く体に良い成分が濃縮されている絶品の食材です。あなたも今日から豆腐料理を一品添えてみませんか。

各図書館と分室の2月のイベント情報

○読書会

- 香里ヶ丘(図) 中高生読書会『ジョーカー・ゲーム』
柳広司・著／角川書店
➢ 2月16日(土) 午後3時 2階ホール
- 枚方公園分室読書会『ピエタ』
大島真須美・著／ポプラ社
➢ 2月22日(金) 午前10時半



○乳幼児向けおはなし会

- 中央(図)
「0歳のおはなしひろば」午前10時半
「1歳からのおはなしひろば」午前11時10分
➢ 2月13・27日(水)
- 牧野(図)「親子で楽しむおはなし会」
➢ 2月13日(水) 午前11時



○工作など

- 東香里分室 工作「くろすけ参上」
➢ 2月16日(土) 午後1時～4時
- 香里園分室 工作「つりびな」
➢ 2月16日(土) 午後1時～4時
- 釈尊寺分室 工作「静電気であそぼう」
➢ 2月20(水), 21日(木) 午後1時～4時半
- 茄子作分室 工作「おひなさまをつくろう」
➢ 2月20日(水) 午後1時～4時半
- 氷室分室 工作「おひなさまをつくろう」
➢ 2月21日(木) 午後1時～4時半
- 宮之阪分室 工作「おひなさまをつくろう！」
➢ 2月21日(木) 午後2時～4時半
- 藤阪分室 工作「くるくるアニメーションをつくろう！」
➢ 2月23日(土) 午後1時～4時

○その他

- 中央(図) 手話で楽しむおはなし会
➢ 2月23日(土) 午後2時
- 香里園分室「手話の会」
➢ 2月8・22日(金) 午前10時半～12時
- 藤阪分室「手話の会」
➢ 2月25日(月) 午前10時～12時
(全てのイベントは掲載していません。詳細は各館室まで。)

ふれあいルーム (絵本で子育て)

- 中央図書館 毎週月曜日
- 香里ヶ丘図書館 第1・3(金)第2・4(木)
- 楠葉生涯学習市民センター 第2・4火曜日
- 菅原図書館 毎週日曜日
- さだ図書館 毎週木曜日(第3週は金)
- 牧野図書館 毎週金曜日
- 津田図書館 毎週水曜日
- 御殿山図書館 毎週金曜日

いずれも10時～12時30分(楠葉のみ9時30分～12時)但し、図書館等の休館日は実施しません。
問合先(子育て支援室)072-841-1221代

ちょっと紹介

「イメージの歴史」

(若桑みどり:著/ちくま学芸文庫)

この本は、古代ギリシャから20世紀までの「美術作品」に込められたイメージを読み解いていくものです。対象は有名な絵画・彫刻をはじめ祭壇画、挿絵、風刺画や日本の公共彫刻まで広範囲にわたります。作品には制作者の意図に留まらず、権力者の意向、歴史や宗教的背景、民衆の声、流行・事件などが、ときには意識的に、ときには無意識のままに投影されているといいます。例えばニューヨークの自由の女神像はフランスが送ったことが知られていますが、なぜフランスは女神像を送ったのか？なぜ女性の像なのか？なぜギリシャ風なのか？

文章は明解であり示唆に富んでいるのですが、ときに辛辣で、日本の公共彫刻を論じるあたりは反論もあるかもしれません。それでも美術作品にはさまざまな「イメージ」が塗り込められていて、人々の思考がどれだけ影響されているのかということに驚かされるでしょう。

もう少し気軽に読みたい方は、「モナ・リザ」など謎に満ちた絵画4点について詳しく解説した『イメージを読む』同著者(ちくまプリマーブックス)をどうぞ。これも刺激的です。

(牧野図書館)